

授業科目名	日常生活援助実習			担当教員	阿部 オリエ、鬼丸 美紀
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	45 (1)
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	病院において、治療を受けている対象者への日常生活援助を看護師と共に実施し、日常生活援助の必要性や根拠を理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活援助を受けている対象者の情報を看護師から得ることができる 2. 実施可能な日常生活援助を決定することができる 3. 看護師と共に安全・安楽に日常生活援助を実施することができる 4. 日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、日常生活援助技術の根拠が理解できる 5. 日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、対象者の自立や個性に応じた日常生活援助について考えることができる 6. 自己の技術の振り返りを行い、日常生活援助技術に対する課題を明らかにすることができる 7. 看護技術の原理・原則（安全、安楽、自立、個性、効率性）などに照らし合わせて、自身が行った日常生活援助を考察し記述できる 				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間 [1クール目] H 30年9月3日(月)～9月7日(金) [2クール目] H 30年9月10日(月)～9月14日(金) 2. 実習場所 福岡赤十字病院、嘉麻赤十字病院、総合せき損センター、宗像医師会病院 3. 実習配置人数 1グループ4名程度。詳細は別途資料 4. 実習の進め方 〈学内オリエンテーション〉 ① 実習目的および概要を理解する ② 連絡網の作成 ③ 技術試験の実施 ※別途資料配布 〈学内実習〉 ① 実習全体についての留意事項 ② 倫理教育（ヒヤリ・ハット、個人情報保護など） 前年度ヒヤリ・ハットの傾向について ③ 実習施設についての留意事項、施設別オリエンテーション ④ 病院実習に向けての準備、技術練習 〈病院実習〉 4日間（4日目はまとめのため午前中のみの実習となる） [実習後の記録・評価に関するフィードバックについては、レポート評価も併せて担当教員より個別に実施する] 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習目的、実習概要について確認し、自分の言葉で説明ができるまで理解を深めること 2. 学内オリエンテーション時は必ず実習要項を持参すること。その際、I.看護学臨地実習の意義～X.実習における注意事項およびレベルIまで熟読しておくこと 3. 実習先の情報はHPなどから事前に入手しておくこと 4. 既習の援助技術に関しては、知識の復習だけでなく、手技も含めて練習を重ねておくこと 5. レポートの記載に関しては、必ず教科書以外の参考書を2冊以上使用すること 		<p>阿部 鬼丸</p> <p>担当教員</p>

先行履修 科目					
テキスト	特に指定しない				
参考文献	既習科目のテキスト・資料。特に看護技術に関する文献は、自ら収集・活用すること				
科目の 位置づけ	本科目は、本学の実習におけるレベルⅠに該当し、且つ、看護技術Ⅰからステップアップした科目としても位置付けられる。看護技術の中でも日常生活援助における技術の原理原則を理解し、根拠をもって実践し、対象者の自立や個別性に関して視野を広げ、思考を深めることが求められる。なお、臨地において初めて入院中の対象者の方々と接する機会にもなるため、人間の尊厳と権利を擁護する力は特に求められる力となる。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	◎	○	○		○
評価方法	技術チェック (20%)、実習目標の達成状況 (50%)、レポート (20%)、実習態度 (10%)				